

アザロフ内閣の顔ぶれ

(2010年3月21日現在)

役 職	名 前	ワンポイント
首相	M.アザロフ AZAROV, Mykola Yanovych	1947年ロシア・カルーガ生まれ。民族的にはロシア人。もともとは炭坑の技術者で、ウクライナに移ってから政治家および財政・税制の専門家となった。
第一副首相	A.クリュエフ KLYUEV, Andriy Petrovych	1964年ドネツィク生まれ。石炭の専門家から成り上がり、弟セルヒーとともに財閥「ウクルボドシブニク」を築き上げた。
副首相(安全保障担当)	V.シウコヴィチ SIVKOVIYCH, Volodymyr Leonidovych	1960年キエフ州生まれ。防衛学校を卒業しKGBなどで働いた安全保障のプロで、内閣でも国防省、内務省等を指揮する。
副首相(経済担当)	S.チギブコ TIHIPKO, Serhiy Leonidovych	1960年モルドバ生まれ。今回の大統領選で第3位につけ、キャスティングボートを握る存在として一躍脚光を浴びた。
副首相(農業担当)	V.スラウタ SLAUTA, Viktor Andriyovych	1952年ドネツィク州生まれ。ソフホーズからたたき上げ、ヤヌコヴィチがドネツィク州知事だった時に副知事を、同じく首相だった時に農相を務めた。
副首相(地域政策担当)	V.ティホノフ TYKHONOV, Viktor Mykolayovych	1949年ルハンシク州生まれ。民族的にはロシア人。ルハンシク州知事を経て2006年から地域党所属の最高会議議員、地域党会派の副会長を務めた。
副首相(人道問題担当)	V.セミノジエンコ SEMYNOZHENKO, Volodymyr Petrovich	1950年キエフ生まれ。もともとはハイテク分野の研究者だが、クチャ時代に副首相に起用されて政治の世界に足を踏み入れた。
副首相(2012年サッカー 欧州選手権開催担当)	B.コレスニコフ KOLESNIKOV, Borys Viktorovych	1962年ドネツィク州マリウポリ生まれ。当国を代表する大富豪アフメトフ氏の盟友で、サッカークラブ「シャフタール」副社長。
外相	K.フリシチェンコ HRYSHCHENKO, Kostyantyn Ivanovych	1953年キエフ生まれ。職業外交官だが、駐ロシア大使時代には存外ウクライナ国家主義者の一面を見せ、ロシアの対ウ政策を批判する場面も。
内相	A.モヒリオーフ MOHYLOV, Anatoliy Volodymyrovych	1955年ロシア・カムチャッカ生まれ。最初は体育教師だったが、その後内務官僚に転身してドネツィク州、クリミア自治共和国などで働く。
国防相	M.エージェリ YEZHEL' Mikhayko Bronislavovych	1952年ヴィンニツャ州生まれ。元海軍総司令官で、ヤヌコヴィチ首相の顧問を経て、最近では国防省主任監査官を務めていた。
非常事態相	N.シュフリチ SHUFRYCH, Nestor Ivanovych	1966年ウシホロド生まれ。石油・ガスで財をなし社会民主党の幹部に就任、のちに地域党に加わったが、物議を醸す言動が多く「ウクライナのジリノフスキー」の評も。
法相	O.ラヴリノヴィチ LAVRYNOVICH, Oleksandr Volodymyrovych	1956年ジトームル州生まれ。地域党幹部ながら、往時には民族主義組織「ルプ」の活動家だったという異色の経歴の持ち主。
蔵相	F.ヤロシエンコ YAROSHENKO, Fedir Oleksiyovych	1949年ドネツィク州生まれ。アザロフの側近で、アザロフが国税庁長官だった時に第一副長官、アザロフが蔵相だった時にその次官。その後、国税庁長官、副長官を務めた。同氏の蔵相起用は、アザロフの財務省掌握、財務省と国税庁の協力関係にとり有益。
経済相	V.ツシコ TSUSHKO, Vasyly Petrovych	1963年オデッサ州生まれ。民族的にはモルドバ人。元オデッサ州知事、元内相であり、経済相起用を疑問視する向きも。
産業政策相	D.コレスニコフ KOLESNIKOV, Dmitro Valeriyovych	1972年ドニプロペトロウシク州クリヴィーリフ生まれ。クリヴォリスターリ勤務を経て、中央採鉱・選鉱コンビナート幹部。産業政策第一省次官、地域党所属の最高会議議員を歴任。
燃料・エネルギー相	Yu.ボイコ BOYKO, Yuriy Anatoliyovych	1958年ドネツィク州生まれ。これまでもウクライナのエネルギー分野に隠然たる影響力を発揮してきた。ロスウクルエネルギーのフィルタシ氏に近いとされる。
石炭産業相	Yu.ヤシチェンコ YASHCHENKO, Yuriy Petrovych	1953年ドネツィク州生まれ。マキウカの炭坑を振り出しに石炭およびエネルギー産業管理の畑を一貫して歩んできた。
農業政策相	M.プリジャジニウク PRYSYAZHNYUK, Mykola Volodymyrovych	1960年ジトームル州生まれ。ジトームル州副知事、食肉・肉製品生産者協会会長などを経て、地域党所属の最高会議議員。
運輸・通信相	K.エフィメンコ YEFIMENKO, Kostyantyn Oleksiyovych	1975年キエフ州生まれ。専門は会計で、直近ではウクルトランスハスの幹部だったが、ほぼ無名の存在。
地域発展・建設相	V.ヤツバ YATSUBA, Volodymyr Hryhorovych	1947年ドニプロペトロウシク州生まれ。地域党幹部ながら、ドネツィク州ではなくドニプロペトロウシク州が地盤(かつて同州の知事を務めた)。
住宅・公営事業相	O.ポポフ POPOV, Oleksandr Pavlovych	1960年ドニプロペトロウシク州クリヴィーリフ生まれ。ポルタヴァ州コムソモリシク市の市長として行政改革の実績を挙げ、中央の大臣に抜擢された。
環境保護相	V.ボイコ BOYKO, Viktor Oleksiyovych	1961年キロヴォフラード州生まれ。農業機械およびそのリースの分野でキャリアを積んできた人物で、直近では農業政策省次官だった。
文化・観光相	M.クリニャク KULYNYAK, Mykhaylo Andriyovych	1969年リヴィウ州生まれ。本職はバイオリニストで、文化・観光省次官を務めていたこともあったが、最近では国家行政アカデミーで学んでいた。
教育・科学相	D.タバチニク TABACHNIK, Dmytro Volodymyrovych	1963年キエフ生まれ。歴史家だが、ウクライナの国民理念を否定するような言動で物議をかもししてきた人物で、野党が辞任を要求している。
家族・青年・スポーツ相	R.サフィウリン SAFIULLIN, Ravil' Safovych	1955年ドネツィク州生まれ。もともとは医者だが、サッカークラブ「シャフタール」の第一副社長を経て、ウクライナプロサッカーリーグ会長、その後は地域党所属の最高会議議員。
労働・社会政策相	V.ナドラハ NADRAHA, Vasyly Ivanovych	1958年ロシア・ブリヤート共和国生まれ。民族的にはロシア人。ルハンシク州副知事、年金基金ルハンシク州支部長、最高会議議員などを経て、ウクライナ雇用者連盟会長。
保健相	Z.ミトニク MYTNYK, Zinovy Mykolayovych	1954年リヴィウ州生まれ。医者であるが、行政に転じてイヴァノフランキウシク州第一副知事、保健省次官を歴任。
官房長官	A.トルストウホフ TOLSTOUKHOV, Anatoliy Volodymyrovych	1956年ドネツィク州生まれ。かつてのプストヴォイテンコ内閣、ヤヌコヴィチ内閣でも官房長官を務めたことのある経験豊富な行政官。

©服部倫卓作成 2010.3.21

<http://www.hattorimichitaka.com>